

委託業務特記仕様書（令和8年5月1日以降適用）

（共通仕様書の適用）

第1条 本業務は、「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に基づき実施しなければならない。なお、これらに定めのないもので、港湾設計・測量・調査等業務にあつては「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書（国土交通省港湾局）」に基づき実施しなければならない。

2 ただし、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針等は改定された最新のものとする。なお、業務途中で改定された場合はこの限りでない。

（共通仕様書の変更・追加事項）

第2条 「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に対する【変更】及び【追加】仕様事項は、次のホームページに掲載の「委託業務共通仕様書（変更・追加事項）」のとおりとする。なお、入札公告日又は指名通知日における最新のものを用いるものとする。

委託業務共通仕様書について

徳島県 HP

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/2009033100099>

（共通仕様書の読み替え）

第3条 「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」において、「徳島県県土整備部及び総合県民局県土整備部」とあるのは「徳島県県土整備部」と、「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木事業設計業務編】」とあるのは「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木設計等業務編】」と、読み替えるものとする。

（成績評定の選択制（試行））

第4条 当初業務委託料（税込み）が100万円を超え500万円未満及び、変更契約で業務委託料が100万円を超えた土木工事に係る測量、設計、試験及び調査の委託業務（建物調査、不動産鑑定、除草、現場施工管理等の委託業務は除く）は、別に定める「委託業務（土木）成績評定の選択制試行要領」を適用する。

2 前項の対象業務の受注者は、契約時、評定の実施の意向について、「委託業務（土木）成績評定に関する意向確認書」を発注者契約担当に提出しなければならない。

3 履行途中の評定の意向変更は原則認めないこととする。ただし、成績評定を希望した場合において、完了時、変更契約により業務委託料（税込み）が100万円以下となった場合は、評定は行わないものとする。

委託業務（土木）成績評定の選択制試行要領

徳島県 HP

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7215929/>

（受発注者共同による品質確保）

第5条 重要構造物（橋梁、トンネル、樋門、砂防等）設計や、補修設計において、必要であると判断された場合は、情報共有（設計条件の留意点、関連業務の進捗状況、設計変更の提案等）・設計方針の確認を目的とした、合同現地踏査等の発注者、受注者（測量、地質、調査、設計）で設計条件・方針を確認できる場を設けることができるものとする。

なお、費用及び参加者等の詳細については、監督員と協議の上、決定するものとする。

(ウィークリースタンス)

第6条 本業務は、ウィークリースタンス（受発注者で1週間のルール（スタンス）を目標として定め、計画的に業務を履行する）の対象業務であり、次の各号に取り組みなければならない。

- (1) ウェンズデー・ホーム（水曜日は定時の帰宅を心がける。）
- (2) マンデー・ノーピリオド（月曜日（連休明け）を依頼の期限日としない。）
- (3) フライデー・ノーリクエスト（金曜日（連休前）に依頼をしない。）

2 前項第1号は必ず実施するものとし、第2号及び第3号についてはどちらか一方は必ず実施しなければならない。なお、前項第1号から第3号に加えて別の取組を行うことを妨げない。

3 ウィークリースタンスとして取り組む内容は、初回打合せ時に受発注者の協議によって決定する。決定した内容は打合せ記録簿に整理し、受発注者間で共有する。

4 受発注者は、中間打合せ等を利用して取り組みのフォローアップ等を行わなければならない。

5 ウィークリースタンスの取組は、業務の進捗に差し支えない範囲で実施する。

(Web会議【受注者希望型】)

第7条 本業務は、建設DXによる業務の効率化を目的とした「Web会議（受注者希望型）」の対象業務であり、別に定める「Web会議実施要領」を適用する。

2 受注者は、Web会議の実施を希望する場合は、業務着手時の打合せにおいて発注者と協議し、実施の範囲等を決定するものとする。

Web会議実施要領

徳島県 HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/5035846/>

(Web検査【受注者希望型】)

第8条 本業務は、建設DXによる業務の効率化を目的とした「Web検査（受注者希望型）」の対象業務であり、別に定める「Web会議実施要領」を適用する。

2 受注者は、Web検査の実施を希望する場合は、業務着手時の打合せにおいて発注者と協議し、実施の範囲等を決定するものとする。

Web会議実施要領

徳島県 HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/5035846/>

(業務箇所への遠隔臨場【受注者希望型】)

第9条 本業務は、建設DXによる業務の効率化を目的とした「遠隔臨場（受注者希望型）」の対象業務であり、別に定める「委託業務における遠隔臨場に関する実施要領」を適用する。

2 受注者は、遠隔臨場の実施を希望する場合は、業務着手時の打合せにおいて発注者と協議し、実施を決定するものとする。

委託業務における遠隔臨場に関する実施要領

徳島県 HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7215928/>

(オンライン電子納品)

第10条 受注者は、オンライン電子納品の実施を希望する場合、「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木設計等業務編】」における着手前協議を実施し、監督員の承諾を得たうえで、オンラインにより電子納品をすることができる。

2 なお、オンライン電子納品を実施する場合、次のURLにある「オンライン電子納品実施要領」を適用することとする。

オンライン電子納品実施要領

徳島県 HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7312755/>

（情報共有システム活用業務【受注者希望型】）

第11条 受注者は、情報共有システム（以下「システム」という。）の活用を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、システム活用の試行対象業務（以下、「対象業務」という）とすることができる。

2 対象業務は、次の URL にある「情報共有システム活用試行要領について」を適用することとする。

情報共有システム活用試行要領

徳島県 CALS/EC

<https://e-denshinyusatsu.pref.tokushima.lg.jp/cals/category/download/jyouhoukyouyuu/>

調査内容

種別	調査時期	調査地点	調査深度	調査頻度	調査月	調査回数
測定 (水温、濁度、DO)	8月から3月	St-1	0.1m、0.5m、1m以下1m毎で湖底上1mまで	1回/2月	8, 10, 12, 2月	4回
		St-2、3、4	1層(2割水深)			
採水及び 生活環境項目等	8月から3月	St-1	3層(0.5m、1/2水深、湖底上1m)	1回/2月	8, 10, 12, 2月	4回
		St-2、3、4	1層(2割水深)			
植物プランクトン	繁殖期	St-1	表層(0.5m)	1回/年	8月	1回
健康項目		St-1	表層(0.5m)	2回/年	8月、2月	2回
底質調査		St-1	堆泥の表層	1回/年	8月	1回

※生活環境項目等のうち、総アルカリ度、全硬度、全蒸発残留物、塩化物イオン、鉄、マンガンの6項目については調査地点を St-4 の1箇所のみ限定することとする。

St-1：ダム湖 堤体から70m
 St-2：流入部
 St-3：流入部
 St-4：ダム下流

水質及び底質分析における 1 回当りの調査項目 No. 1

水質分析(生活環境項目等)

1 回当り

名 称	単 位	数 量
水温	検体	6
濁度	〃	6
pH	〃	6
DO	〃	6
BOD	〃	6
COD	〃	6
SS	〃	6
大腸菌数（最確数法）	〃	6
全窒素	〃	6
全リン	〃	6
クロロフィル a	〃	6
総アルカリ度	〃	1
全硬度	〃	1
全蒸発残留物	〃	1
塩素イオン	〃	1
溶解性鉄	〃	1
溶解性マンガン	〃	1

水質及び底質分析における 1 回当りの調査項目 No. 2

水質分析(健康項目)

1 回当り

名 称	単 位	数 量
カドミウム	検体	1
全シアン	〃	1
鉛	〃	1
六価クロム	〃	1
ヒ素	〃	1
総水銀	〃	1
アルキル水銀	〃	1
P C B	〃	1
ジクロロメタン	〃	1
四塩化炭素	〃	1
1, 2-ジクロロエタン	〃	1
1, 1-ジクロロエチレン	〃	1
シス-1, 2-ジクロロエチレン	〃	1
1, 1, 1-トリクロロエタン	〃	1
1, 1, 2-トリクロロエタン	〃	1
トリクロロエチレン	〃	1
テトラクロロエチレン	〃	1
1, 3-ジクロロプロペン	〃	1
ベンゼン	〃	1
チウラム	〃	1
シマジン	〃	1
チオベンカルブ	〃	1
セレン	〃	1
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	〃	1
ふっ素	〃	1
ほう素	〃	1
1, 4-ジオキサン	〃	1

水質分析(植物プランクトン)

1 回当り

名 称	単 位	数 量
植物プランクトン	検体	1

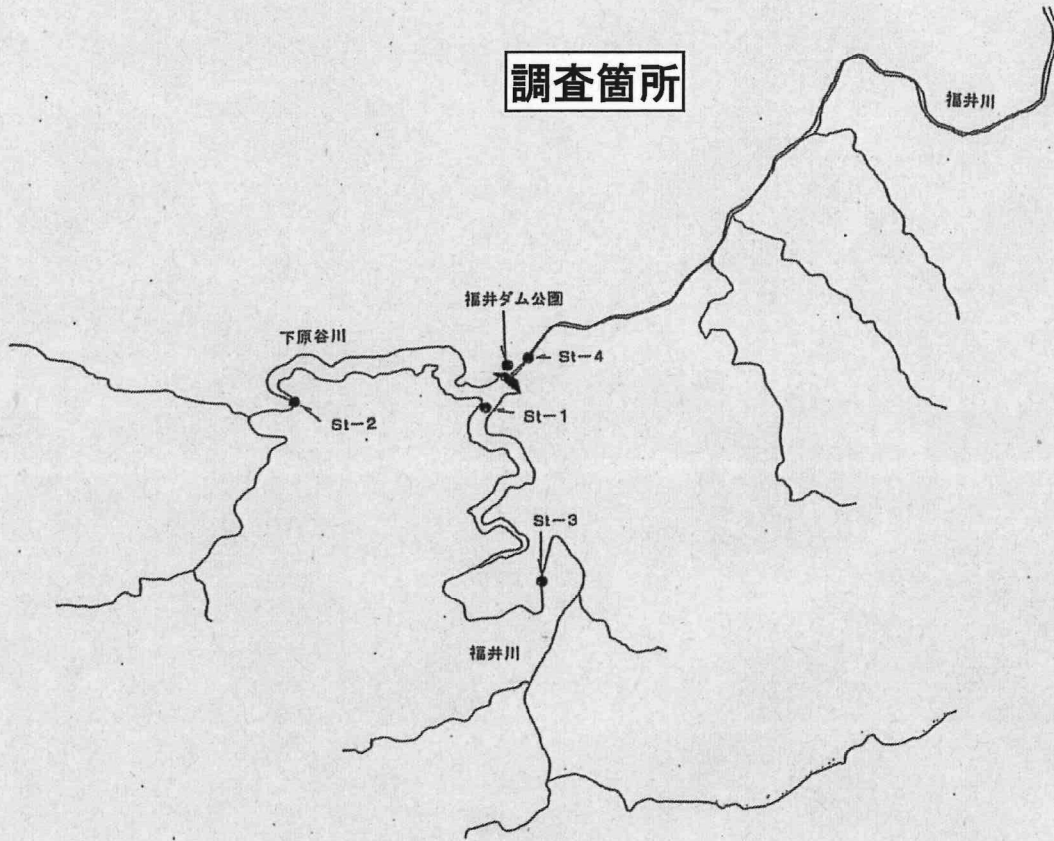
水質及び底質分析における 1 回当りの調査項目 No. 3

底質分析(含有量)

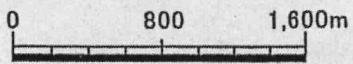
1 回当り

名 称	単 位	数 量
粗度組成	検体	1
強熱減量	〃	1
C O D	〃	1
全窒素	〃	1
全リン	〃	1
硫化物	〃	1
鉄	〃	1
マンガン	〃	1
カドミウム	〃	1
鉛	〃	1
六価クロム	〃	1
ヒ素	〃	1
総水銀	〃	1
アルキル水銀	〃	1
P C B	〃	1
チウラム	〃	1
シマジン	〃	1
チオベンカルブ	〃	1
セレン	〃	1
酸化還元電位	〃	1

調査箇所



S=1/40,000



凡 例

- 水質調査位置
- St-1: 貯水池内基準点
- St-2: 流入部
- St-3: 流入部
- St-4: 放水口下流
- 福井ダム公園